

医療者の知識交流サイト

松本の内科医が開設

松本市内の病院や診療所で内科医として働く小手川直史氏が、医療者同士で質問や回答を投稿したり、医療の知識や情報を蓄積して共有したりするサイト「信州メディビトネット」を開設した。多くの医療情報や知識が集まり、それをいつでも誰でも共有できる仕組みの構築を目指している。県内の医療の発展を願い、活動を始めた小手川氏。きっかけは、意外にも過去の挫折にあった。

(須野原真也)



小手川直史氏。多くの医療者の参加

協力を呼び掛けている

2000年に信大医学部を卒業し、地域医療を志した。研修医時代を北海道で過ごし、再び長野県にきたのは04年。諏訪地域の病院や診療所で経験を積んだ。現在は松本を拠点に医療を提供している。

松本の診療所で在宅医療に従事して3年が過ぎたところ、うすうす感じていたことが確信に変わった。

多職種に参加 協力呼びかけ

サイトは主に、4つのカテゴリで構成。中でも「メディビトの知恵」と「おしえてメディビト」の2つが特に肝だ。

「メディビトの知恵」は、いわゆる医療版のWikipedia。各診療科の概要や治療のポイントといったさまざまな情報を書き込んだり閲覧したり

た。「自分は幅広く患者さんを診るためにこれまで

経験を生かし 仕組み構築へ

で研鑽を積んできたはずなのに、対応できていな

い。同時に、病院とべ、診療所の医師は知の面で孤立しがちだろうことも痛感。自分の門以外の内科全般から全科、在宅、介護福祉で守備範囲が広いにもかかわらず、気軽に相談できる相手が周りにいなかった。

「まずは自分がいろいろと教えてほしかったらきつと他の人の役にもつはず」。素直な思い小手川氏をサイト開設と導いた。

できる。「おしえてメディビト」は、疑問を解決する場。教科書には載らない医療のコツなどを気軽に相談できる。サイト内は誰でも見ることができ、質問や回答などの書き込みは無料登録が必要となる。

サイトの主なターゲットは診療所の医師。ただ、病院の医師ら多職種にも、情報の提供や質問への回答など積極的な協力を呼び掛けている。目

指すは、ウェブサイトに知識が集まる。仮想州総合病院という位付け。「地域医療の仕みを整備し、医療者と民のために貢献したい」と話す。

サイトに関する問い合わせや協力の申し出はメディビトネット事務局(☎・ファクスともに263-7516815)メール hello@medibit.net)へ。URLは、http://medibito.net/